

## 会議録

会議名	第42回 海津市地域公共交通会議
日時	令和8年1月22日(木) 13:30~15:00
場所	海津市役所 西館1階 大会議室
出席者	委員21名 事務局3名 (株)テイコク2名
傍聴人	0名
議題等	<p>報告1 小中学生夏休み無料パスポート利用結果について</p> <p>報告2 次期地域公共交通計画策定に係る各種調査結果について</p> <p>議題1 令和7年度補正予算(案)について</p> <p>議題2 お千代保稲荷線 ダイヤ改正(案)について</p> <p>議題3 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価(案)について</p> <p>議題4 次期海津市地域公共交通計画骨子(案)について</p>
<p><b>報告事項</b></p> <p><b>【報告1】 小中学生夏休み無料パスポート利用結果について</b></p> <p><b>【報告2】 次期地域公共交通計画策定に係る各種調査結果について</b></p> <p>事務局から、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span>、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-1</span>、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-2</span>、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-3</span>に基づき説明</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケート結果の「乗車駅までの移動手段・降車駅からの移動手段」について、「鉄道(JR・近鉄など)」とあるが、アンケートに回答した方は海津市民だけではなく、大垣や桑名から乗った他の地域の方も含まれているということか。</li> </ul> <p>→他の地域の方も含まれている。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート結果の「7.福祉輸送事業」は、地区社協が行っている事業のことか。下多度、石津、西江の3地区のみで実施されているが、事故発生時の対応の不安や人材確保が難しく、なかなか広がらないという話を聞いた。ファミリーサポートを行う組織ができ、子育て支援、子どもの習い事の送迎、見守りを社協が主体となって実施している。これと同じように高齢者を対象として病院や買い物への送迎を行う組織を地区社協全体で立ち上げられないか。ファミリーサポートに登録する人は救命等の研修を行うため、安全面に関してはそのような方が高齢者の手助けを行うことはできないか。タクシー事業者との連携も一度検討していただきたい。</li> <li>・デマンド交通の利用者アンケートについて、自分の自治会では2年前に停留所が新設されたが、需要の有無を検討されずに自治会が申請をしたこともあり、利用回数は1回だけであった。新設後に地域の老人会やサロンへの周知を徹底したほうがいいと感じている。先日のワークショップについても、交通難民の人が広報を見て参加しようとならないのが現実である。自治会単位でデマンドバスの周知や、コミュニティバスへの意見を聞く機会を設けないといけないと思う。</li> </ul> <p>→高齢者の輸送については、地区社協が実施しているものと、地域にある福祉施設が買い物の送迎を担っている地区もある。地区社協や事業者がこのような事業を実施したいということであれば市として支援していきたいと考えている。</p> <p>ファミリーサポートセンターは、市の社会福祉協議会に委託して実施しており、例えば塾の送迎</p>	

を行っている。ファミリーサポートセンターは子どもを優先して考えているが、高齢者を対象としたサービスも考えていきたい。

## 協議事項

### 【議題1】 令和7年度補正予算（案）について

事務局から、[資料3](#)に基づき説明

○原案のとおり承認

### 【議題2】 お千代保稲荷線 ダイヤ改正（案）について

事務局から[資料4](#)に基づき説明

（委員）

・岐阜羽島駅 16：15 発の便を 20 分遅らせると、これまで海津市役所で 16：55 発の津島駅行きに乗り継ぎができたが、この変更によって乗り継ぎができなくなるが問題ないか。

→この便は前回の改正時に、夕方の高校生の帰宅の便を図るために新設したものであり、今回の改正では、岐阜羽島駅から乗車される方の利便性向上のために行う。海津津島線への乗り継ぎができなくなるが利用状況から影響は少ないと考えている。

（委員）

・お千代保稲荷線の平日ダイヤについて、海津市役所 7：05 発は大須行きであるが、通勤・通学時間帯にもかかわらず岐阜羽島駅に行かないのはなぜか。

→1 便前の海津市役所 6：30 発の便は中型バスで運行しているが、現在 30 人ほど乗車している。海津市役所 7：05 発の便はジャンボタクシー車両で運行していることから、岐阜羽島駅に延伸した際に、海津市役所 6：30 発の便から乗客が分散した場合、ジャンボタクシー車両の定員を超過する恐れがある。海津市役所 7：05 発の車両を大型化できるのであれば、岐阜羽島駅への延伸を検討したいと考えている。

○原案のとおり承認

### 【議題3】 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（案）について

事務局から、[資料5-1](#)、[資料5-2](#)、[資料5-3](#)に基づき説明

（委員）

・夏休みの無料パスポートのように、外国籍の労働者や子どもが利用しやすくなるような方策を検討してはどうか。外国籍の方が母国へ帰省する際に、外国人にとっても海津津島線は利便性が高いと思う。また、外国人の方は雨の日でも自転車で買い物に行っており、その方々にも一度バスに乗ってもらえるような方策があったらいいと思う。多文化共生事業の委員会も立ち上がっているが、外国人の支援の検討をお願いしたい。

→公共交通利用ガイドブックについて、多言語翻訳を行っている。外国人住民などに向けた公共交

通の利便性の向上についても、今後検討していきたいと考えている。

(委員)

・令和6年度から令和7年度にかけて、海津津島線の利用が増加しているが、これは本数が増え、選択肢が増えたことで利用者が増加したのではないかと思う。一方でお千代保稲荷線では、同時期で1,000人ほどしか増加していない。お千代保稲荷線は幹線と位置づけ、車両の数を増やし、本数を増やすという方策も考えられると思う。

→運転手不足の問題もあり、運転手を確保するための取り組みを今後検討した上で、本数を増やせるかどうかを検討したい。まずは運転手確保の取り組みについて考えていきたいと思っている。

(委員)

・お千代保稲荷線と海津津島線を比較したときに、海津津島線は早朝や夜の便が充実しているのに対して、お千代保稲荷線は終バスが早く見劣りしてしまう。お千代保稲荷線の始発と終バスを増やしていただきたいと思う。

・令和8年3月のJRのダイヤ改正で、岐阜羽島駅6:30発の臨時のこだまが新設され、東京方面のアクセスが向上する。新大阪方面の始発も6:49にあるため、将来的にこれに合わせてお千代保稲荷線を設定できれば、新幹線を使ったビジネス客の利便性向上が期待できると思うので、検討していただきたい。

→今後の検討材料とする。

○原案のとおり承認

#### 【議題4】 次期海津市地域公共交通計画骨子(案)について

事務局から、資料6に基づき説明

(委員)

・計画期間が令和9年度から5年間ということだが、会議で出た意見はどのような形で反映されるのか。

→現在は、計画の基本となる骨子案を策定した段階のため、細かい内容については、いただいたご意見も考慮し、今後検討を進める。

(委員)

・車両構成を見直すという表記があるが、利用者の数と車両の大きさが関係すると思うが、お千代保稲荷線と海津津島線を幹線、他の路線を支線と捉え、幹線には大きめの車両、支線には小さめの車両を割り当てるといった、位置づけの見直しをしてはどうかと思う。

→便ごとや路線ごとの利用状況をみて、どの路線にどの車両を割り当てていいのかを考えている。幹線と支線という考え方もあると思うので、今後検討する。

○原案のとおり承認

**【総括】**

(岐阜大学 中村副会長)

**その他**

(事務局)

海津市タクシー運行事業（実証実験）について説明

**閉会**